

1	午 前
---	-----

(2018年9月9日10時00分～12時00分)

問 題


- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午前の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、受験票に貼付されている受験番号シールを解答用紙左上の【シール貼付欄】に貼付してください。次に中央の欄に受験番号を、一番右の欄に氏名を HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用して記入してください。

(例) 受験番号 0A-0001 の場合

貼付欄	 0A-0001	受験番号 0A-0001	氏名 心理 花子
-----	---	-----------------	-------------

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 公認心理師の名称を用いることができるのはどれか、正しいものを 1 つ選べ。

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| ① 公認心理師試験受験日以降 | <u>正解は④であるから解答用紙の④をマーク</u> |
| ② 合格発表日以降 | <u>すればよい。</u> |
| ③ 資格申請日以降 | 解答用紙 A の場合 |
| ④ 公認心理師登録簿への登録日以降 | 解答用紙 B の場合 |

解答用紙 A の場合

1	①	②	③	④
↓				
1	①	②	③	●

解答用紙 B の場合

1	1
①	①
②	②
③	③
④	●

[例 2] 公認心理師の資質向上の責務を定めている法律について、正しいものを1つ選べ。

① 医療法 正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。

② 医療観察法

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

③ 社会福祉法

④ 公認心理師法

⑤ 精神保健福祉法

2	①	②	③	④	⑤
↓					
2	①	②	③	●	⑤

2	2
①	①
②	②
③	③
④	●
⑤	⑤

[例 3] 公認心理師登録簿に登録される項目について、正しいものを2つ選べ。

① 氏名 正解は①と⑤であるから解答用紙の①と⑤にマークすればよい。

② 年齢

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

③ 電話番号

④ 卒業年月日

⑤ 登録年月日

3	①	②	③	④	⑤
↓					
3	●	②	③	④	●

3	3
①	●
②	②
③	③
④	④
⑤	●

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●~~○~~~~○~~~~○~~ (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。

5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問1 サイコロジカル・ファーストエイドを活用できる場面として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① インテーク面接
- ② 予定手術前の面接
- ③ 心理検査の実施場面
- ④ 事故現場での被害者の救援
- ⑤ スクールカウンセリングの定期面接

問2 児童虐待について、緊急一時保護を最も検討すべき事例を1つ選べ。

- ① 重大な結果の可能性があり、繰り返す可能性がある。
- ② 子どもは保護を求めているが、すでに重大な結果がある。
- ③ 重大な結果は出ていないが、子どもに明確な影響が出ている。
- ④ 子どもは保護を求めているが、保護者が虐待を行うリスクがある。
- ⑤ 子どもが保護を求めているが、子どもが訴える状況が差し迫ってはいない。

問3 14歳の女子A、中学生。摂食障害があり、精神科に通院中である。最近、急激にやせが進み、中学校を休みがちになった。Aの母親と担任教師から相談を受けた公認心理師であるスクールカウンセラーが、Aの学校生活や心身の健康を支援するにあたり、指示を受けるべき者として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 栄養士
- ② 学校長
- ③ 主治医
- ④ 養護教諭
- ⑤ 教育委員会

問4 森田療法について、正しいものを1つ選べ。

- ① 「精神交互作用」の過程を重視する。
- ② 創始時に多く適用された対象は、統合失調症であった。
- ③ あるがままに受け入れるアプローチは、「身調べ」に由来する。
- ④ 原法の絶対臥褥(がじょく)期では、読書は行ってもよいとされる。
- ⑤ 「ヒポコンドリー性基調」とは、注意が外界に向けられ他者に敏感である状態をいう。

問5 オペラント行動の研究の基礎を築いたのは誰か。正しいものを1つ選べ。

- ① A. Adler
- ② B. F. Skinner
- ③ E. C. Tolman
- ④ I. P. Pavlov
- ⑤ J. B. Watson

問6 記憶の実験によって示される系列位置効果について、正しいものを1つ選べ。

- ① 初頭効果は、学習直後に遅延を置くと消失する。
- ② 系列再生法を用いた記憶の実験によって示されるものである。
- ③ 新近効果は、長期記憶に転送された情報の量を反映したものである。
- ④ 学習段階で単語の呈示時間を長くすると、リスト中間部の再生率は低下する。
- ⑤ 系列位置ごとの再生率を折れ線グラフとして表した系列位置曲線は、U字型になる。

問7 条件づけについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 貨幣やポイントを強化子とした条件づけを二次条件づけと呼ぶ。
- ② 古典的条件づけは、条件刺激と無条件反応の連合によって成立する。
- ③ オペラント条件づけによる行動変容以前の行動頻度をオペラント水準と呼ぶ。
- ④ 連続強化による条件づけは、間歇強化による条件づけよりも消去抵抗が強い。
- ⑤ 古典的条件づけにおいては、逆行条件づけは順行条件づけよりも条件反応の獲得が良好である。

問8 パーソナリティや自我状態に関する心理検査について、正しいものを1つ選べ。

- ① MASは、多面的にパーソナリティを測定する検査である。
- ② IATは、顕在的意識レベルの自尊心の個人差を測定する検査である。
- ③ NEO-PI-Rは、パーソナリティの6つの次元を測定する検査である。
- ④ 東大式エゴグラムは、被検者の自我状態をP、A又はCの3タイプのいずれか1つに分類する検査である。
- ⑤ YG性格検査は、パーソナリティの12の特性を測定する120項目への反応を通して被検者を典型的な型に分類する検査である。

問9 パーソナリティの特性に根源特性と表面特性とを仮定し、根源特性として16因子を見出した心理学者は誰か。正しいものを1つ選べ。

- ① C. R. Cloninger
- ② G. A. Kelly
- ③ H. J. Eysenck
- ④ J. P. Guilford
- ⑤ R. B. Cattell

問10 成人の脳波について、正しいものを1つ選べ。

- ① α 波は閉眼で抑制される。
- ② α 波は前頭部に優位である。
- ③ β 波はレム睡眠で抑制される。
- ④ δ 波は覚醒時に増加する。
- ⑤ θ 波は認知症で増加する。

問11 大脳皮質の機能局在について、正しいものを1つ選べ。

- ① Broca 野は頭頂葉にある。
- ② 一次視覚野は側頭葉にある。
- ③ 一次運動野は後頭葉の中心前回にある。
- ④ Wernicke 野は側頭葉と前頭葉にまたがる。
- ⑤ 一次体性感覚野は頭頂葉の中心後回にある。

問12 児童虐待について、正しいものを1つ選べ。

- ① 主な虐待者は実父が多く、次に実父以外の父親が多い。
- ② 身体的虐待、心理的虐待及び性的虐待の3種類に大別される。
- ③ 児童虐待防止法における児童とは、0歳から12歳までの者である。
- ④ 児童の目の前で父親が母親に暴力をふるうことは、児童虐待にあたる。
- ⑤ 児童虐待防止法が制定されて以降、児童虐待の相談対応件数は減少傾向にある。

(注：「児童虐待防止法」とは、「児童虐待の防止等に関する法律」である。)

問13 社会的認知のバイアスについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 他者の内面を実際以上に理解していると誤解することを透明性の錯覚〈透明性錯誤〉という。
- ② 集団の違いと行動傾向との間に、実際にはない関係があると捉えてしまうことを疑似相関という。
- ③ 観察者が状況要因を十分に考慮せず、行為者の内的特性を重視する傾向を行為者－観察者バイアスという。
- ④ 自分の成功については内的要因を、自分の失敗については外的要因を重視する傾向を確証バイアスという。
- ⑤ 人物のある側面を望ましいと判断すると、他の側面も望ましいと判断する傾向を光背効果〈ハロー効果〉という。

問14 集団思考〈groupthink〉に関する説明として、正しいものを1つ選べ。

- ① 集団内で同調圧が高いと感じるときに生じやすい。
- ② 集団意思決定の質は個人による意思決定に比べて優れている。
- ③ 集団構成員間の親密性が低いとき、思考や発言が抑制されやすい。
- ④ 集団で課題を遂行すると、一人当たりの成績は単独で遂行するときよりも低下する。
- ⑤ 緊急時に援助できる人が自分以外にもいる場合、自分しかいない場合より援助行動が抑制されやすい。

問15 E. H. Erikson のライフサイクル論について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 人の生涯を6つの発達段階からなると考えた。
- ② 成人期前期を様々な選択の迷いが生じるモラトリアムの時期であると仮定した。
- ③ 青年期を通じて忠誠〈fidelity〉という人としての強さ又は徳が獲得されると考えた。
- ④ 各発達段階に固有のストレスフルなライフイベントがあると仮定し、それを危機と表現した。
- ⑤ 成人期後期に自身の子どもを養育する中で、その子どもに生成継承性〈generativity〉が備わると考えた。

問16 バウムテストについて、正しいものを1つ選べ。

- ① K. Koch が精神疾患の診断を目的に開発した。
- ② 形状の年齢的变化では、二線幹のバウムは6歳までには減少する。
- ③ 樹冠の輪郭の有無によって、心理的発達の成熟又は未成熟が把握できる。
- ④ M. Grünwald の空間象徴理論に基づいて解釈を行うことを基本とする。
- ⑤ 対人関係や感情表出の特徴を示す指標として、枝の先端の処理に注目する。

問17 P-F スタディの実施と解釈について、正しいものを1つ選べ。

- ① 葛藤場面は、自我の退行場面と超自我が阻害される場面とで構成される。
- ② 攻撃性の方向が内外ともに向けられずに回避される反応を無責傾向と解釈する。
- ③ 依存性と攻撃性の方向とパターンを分類及び記号化して、社会的関係の特徴を把握する検査である。
- ④ 他者との葛藤状況における言語反応を、愛着関係の方向とパターンとに分類及び記号化して解釈する。
- ⑤ 欲求不満を来す状況について、もしも自分であったらという想定における被検者の言語反応を分類及び記号化して解釈する。

問18 ケース・フォーミュレーションについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 一度定式化したものは修正しない。
- ② できるだけ複雑な形に定式化する。
- ③ 全体的かつ安定的な心理的要因を検討する。
- ④ クライアントと心理職との共同作業を重視する。
- ⑤ 症状を維持するメカニズムや診断名を考慮しない。

問19 ひきこもりの支援について、正しいものを1つ選べ。

- ① ハローワークでは、生活面での助言や障害福祉サービスの利用支援を行う。
- ② ひきこもり地域支援センターは、市町村が行う相談支援業務を援助する機関である。
- ③ 地域若者サポートステーションは、早期に医療機関へのつながりを確保する機関である。
- ④ 地域障害者職業センターでは、障害者手帳の所有者でなくても専門的な職業評価と職業指導が受けられる。
- ⑤ ひきこもりサポーターは、長期にわたるひきこもりの当事者及び家族を支援することを主な目的としている。

問20 対象喪失に伴う悲嘆反応に対する心理的支援について、正しいものを1つ選べ。

- ① 悲嘆を悪化させないためには、喪失した対象を断念することを勧める。
- ② 理不尽な喪失体験に遭遇したときは、現実検討ではなく気分の転換を優先する。
- ③ 喪失した対象に対する悲嘆過程を共に体験し、その意味を共に探ることが目標である。
- ④ 悲嘆が病的な反応へと陥らないように、健康な自我の働きを支えることが目標である。
- ⑤ 悲嘆反応の中で出てくる喪失した対象への罪悪感は、病的悪化の要因になりやすいため、心理的支援の中で扱うことは避ける。

問21 中途障害者の障害受容について、正しいものを1つ選べ。

- ① 他責を示すことはない。
- ② 一旦前進し始めると、後退することはない。
- ③ 他者や一般的な価値と比較して自分を評価することが必要である。
- ④ 障害によって自分の価値全体を劣等だと認知することが必要である。
- ⑤ ショック期の次の期では、障害を認めつつも、一方で回復を期待した言動がしばしばみられる。

問22 自分の特定の行動を成功裏に遂行できるという感覚や信念を表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自己効力
- ② 自己調整
- ③ 自尊感情
- ④ コンピテンス
- ⑤ ポジティブ感情

問23 学習性無力感はどのような体験が繰り返されることで生じるか。正しいものを1つ選べ。

- ① 他者から非難される体験
- ② 特定の課題を遂行する体験
- ③ 特定の行動を回避する体験
- ④ 努力が成果に結びつかない体験
- ⑤ 特定の場面での不安や緊張の体験

問24 パーキンソン症状が最も多くみられる疾患を1つ選べ。

- ① 進行麻痺
- ② 意味性認知症
- ③ 前頭側頭型認知症
- ④ Lewy 小体型認知症
- ⑤ Alzheimer 型認知症

問25 自律神経系について、正しいものを1つ選べ。

- ① 交感神経系の活動が亢進すると、気道が収縮する。
- ② 交感神経系の活動が亢進すると、血圧が上昇する。
- ③ 副交感神経系の活動が亢進すると、瞳孔が散大する。
- ④ 副交感神経系の活動が亢進すると、発汗が減少する。
- ⑤ ストレスが加わると、副交感神経系の活動が亢進する。

問26 パニック障害に最も伴いやすい症状として、正しいものを1つ選べ。

- ① 常同症
- ② 解離症状
- ③ 疾病恐怖
- ④ 社交恐怖
- ⑤ 広場恐怖

問27 特別支援教育について、正しいものを1つ選べ。

- ① 私立学校では実施されていない。
- ② 特別支援学校教諭免許状が必須である。
- ③ 対象となる障害種別は発達障害と知的障害である。
- ④ 特別支援学校及び特別支援学級の2か所で行われる。
- ⑤ 就学に際して専門家及び保護者の意見聴取が義務づけられている。

問28 産業保健について、正しいものを1つ選べ。

- ① 事業場を経営する者を管理監督者という。
- ② 労働者は自らの健康管理に関する安全配慮義務を負う。
- ③ ストレスチェック制度は労働者のうつ病の早期発見を目的とした取組である。
- ④ 常時50人以上の労働者を使用する事業場は、産業医を選任しなければならない。
- ⑤ 過労死等防止対策推進法における「過労死等」とは、業務における過重な負荷による脳血管疾患又は心臓疾患を原因とする死亡をいう。

問29 労働者の心の健康の保持増進のための指針の職場における心の健康づくりについて、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 労働者の心の健康は、家庭や個人の問題とは切り離して捉える。
- ② メンタルヘルス不調となった労働者の職場復帰の支援を行う活動は含まれない。
- ③ ストレスへの気づきや対処法などに関する教育研修と情報提供とが継続的かつ計画的に実施される。
- ④ メンタルヘルスに関する情報は、適切な対応に必要な情報が的確に伝達されるように加工せずに提供する。
- ⑤ 「セルフケア」、「ラインによるケア」及び「事業場外資源によるケア」の3つが継続的かつ計画的に行われる。

問30 公認心理師法に定める内容について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 公認心理師は名称独占の資格である。
- ② 秘密保持義務に違反した者は禁錮刑の対象となる。
- ③ 公認心理師は、公認心理師の信用を傷つけるような行為をしてはならない。
- ④ クライアントについての秘密を他者に伝えるには、正当な理由が必要である。
- ⑤ 秘密保持義務に違反した者は、公認心理師の登録を取り消されることがある。

問31 生後6か月頃までの乳児が示す発達的特徴について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 対面する他者の視線方向を目で追う傾向がある。
- ② 目鼻口が正しい配置にある顔図形を愛好する傾向がある。
- ③ 他児の泣き声を聞くと、つられるように泣き出すことがある。
- ④ 曖昧な状況で養育者の表情を見てからその後の行動を開始するようになる。
- ⑤ 目の前で舌を出す動作を繰り返し見せると、同じような顔の動きをすることがある。

問32 注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉の診断や行動特徴として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 女性は男性よりも主に不注意の行動特徴を示す傾向がある。
- ② 診断には、複数の状況で症状が存在することが必要である。
- ③ 診断には、いくつかの症状が12歳になる以前から存在している必要がある。
- ④ 診断には、不注意、多動及び衝動性の3タイプの行動特徴を有することが必要である。
- ⑤ DSM-5では、自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害〈ASD〉の診断に併記することができる。

問33 せん妄の発症のリスク因子でないものを1つ選べ。

- ① 女性
- ② 疼痛
- ③ 感染症
- ④ 睡眠障害
- ⑤ 低酸素症

問34 自殺対策におけるゲートキーパーの役割について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 専門家に紹介した後も地域で見守る。
- ② 悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して孤立や孤独を防ぐようにする。
- ③ 専門的な解釈を加えながら診断を行い、必要に応じて医療機関を受診させる。
- ④ 悩んでいる人のプライバシーに配慮しつつ、支援者同士はできるだけ協力する。
- ⑤ 悩んでいる人から「死にたい」という発言がなくても、自殺のリスクについて評価する。

問35 ICD-10 の解離性(転換性)障害について、誤っているものを1つ選
べ。

- ① 自殺の危険性がある。
- ② 身体症状を伴う場合がある。
- ③ 幼少時の被虐待体験が関連している。
- ④ 自らの健忘には気づいていないことが多い。
- ⑤ 可能な限り早期に外傷的な記憶に踏み込んで治療すべきである。

問36 問題行動を起こした児童生徒への学校における指導として、不適切
なものを1つ選べ。

- ① 問題行動の迅速な事実確認を行う。
- ② 問題行動の原因や背景を分析して指導計画を立てる。
- ③ 保護者に問題行動について十分に説明し、理解を求める。
- ④ 児童生徒のプライバシーを守るために、担任教師が一人で行う。
- ⑤ 児童生徒自身がどうすればよいかを考え、実行し、継続できるように指導をする。

問37 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 働く人々の健康が保持され、家族・友人との時間、社会参加のための時間を持てる社会を目指す。
- ② 能力や成果に応じて報酬が配分されることによって、就労による経済的自立が可能な社会を目指す。
- ③ 仕事と生活の調和推進のための行動指針では数値目標を設定し、政策への反映を図ることとしている。
- ④ 性や年齢にかかわらず、誰もが自らの意欲と能力を持って、多様な働き方・生き方が選択できる社会を目指す。
- ⑤ 国民一人ひとりが仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、多様な生き方が選択・実現できる社会を目指す。

問38 いじめ防止対策推進法の内容として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 「児童等」とは、学校に在籍する児童又は生徒をいう。
- ② 「児童等はいじめを行ってはならない」と定められている。
- ③ 国及び学校には、それぞれ基本的な方針を策定する義務がある。
- ④ いじめを早期に発見するため、学校では在籍児童等に対して定期的な調査を実施するなど適切な対策をとる。
- ⑤ 教育委員会は、児童等がいじめを行っていて教育上必要がある場合は、当該児童等に対して懲戒を加えることができる。

問39 障害者の雇用の促進等に関する法律について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 障害者の法定雇用率の算定基礎の対象には、精神障害者が含まれている。
- ② 募集、採用、賃金、教育訓練及び福利厚生施設の利用について、障害者であることを理由とする差別が禁止されている。
- ③ 事業主は採用試験の合理的配慮として、例えば視覚障害者に対して点字や音声などで障害の特性に応じた必要な措置を行う。
- ④ 障害者のみを対象とする求人など、積極的な差別是正措置として障害者を有利に取り扱うことは、禁止される差別に該当する。
- ⑤ 事業主が必要な注意を払っても被雇用者が障害者であることを知り得なかった場合には、合理的配慮の提供義務違反を問われない。

問40 アウトリーチ(訪問支援)で行う家族へのケアにおいて、特に初期に活用できる概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ジョイニング
- ② レジリエンス
- ③ リフレーミング
- ④ マインドフルネス

問41 重回帰分析で算出される重相関係数の説明として、正しいものを1つ選べ。

- ① 説明変数間の相関係数のことである。
- ② 基準変数と予測値との相関係数のことである。
- ③ 説明変数と予測値との相関係数のことである。
- ④ 説明変数と基準変数との相関係数のことである。

問42 言語の障害について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 感覚性失語は多くの場合 Broca 野の損傷が原因となる。
- ② ディスレクシアは音声言語の理解と産出の障害である。
- ③ 吃音は幼児期に始まる傾向にあり、女兒よりも男児に多い。
- ④ 自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害〈ASD〉では統語論的な能力につまずきをもつことが多い。

問43 乳児期の発達に関する心理学的研究手法について、正しいものを1つ選べ。

- ① 馴化－脱馴化法は、異なる刺激を次々と呈示し、乳児の関心の変化を確かめる。
- ② スティルフェイス実験は、他者との相互作用において、乳児がどれだけ無表情になるかを見る。
- ③ 選好注視法は、乳児に2つの視覚刺激を交互に続けて呈示し、どちらに対して長く注視するかを見る。
- ④ 期待違反法は、乳児が知っていることとは異なる事象を呈示して、乳児がどれだけ興味や驚きを示し、長く注視するかを見る。

問44 H. S. Sullivan による「関与しながらの観察」という概念について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 治療面接では、感情に流されず客観性及び中立性を維持することが重要である。
- ② 他者の行動を理解するには、面接に参加している自己を道具として利用する必要がある。
- ③ 面接外のクライアントの行動に関する情報も、面接中に得られる情報と同等に重要である。
- ④ クライアントとのコミュニケーションを正しく理解するためには、現象のみに目を向けるべきである。

問45 発達障害及びその支援について、正しいものを1つ選べ。

- ① 療育手帳を取得することはできない。
- ② 精神障害者保健福祉手帳を取得することはできない。
- ③ 発達障害者支援センターの役割に診断は含まれない。
- ④ 発達障害者支援法では注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉は支援の対象に含まれない。

問46 公認心理師であるスーパーバイザーが、クライアントとの間に行き詰まりを経験しているスーパーバイザーに対応するにあたって、不適切なものを1つ選べ。

- ① 1回のみ指導はスーパービジョンに該当しない。
- ② スーパーバイザーが抱える個人的な問題に対して心理療法を用いて援助を行う。
- ③ 心理療法のセッションをリアルタイムで観察しながら介入を指示する方法をライブ・スーパービジョンと呼ぶ。
- ④ スーパーバイザーとの間においてもクライアントに対するものと同様の行き詰まりが見られることを並行プロセスと呼ぶ。

問47 公認心理師が他の職種と連携して業務を行う際の秘密保持に関する留意点として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 教育分野では、相談内容を担任教師に報告する場合、クライアントである児童生徒の同意が必要である。
- ② 医療分野では、全職種が守秘義務を有しているため、クライアントの秘密の扱いについて本人に同意を得る必要はない。
- ③ 産業分野では、うつに悩むクライアントから許可を得れば、クライアントの上司に対して業務量の調整を提案してよい。
- ④ 犯罪被害者のカウンセリングで得られた犯人に関する情報の提供を求められても、正当な理由がなく警察官に伝えてはならない。

問48 ICD-10 の病的窃盗の診断基準及び DSM-5 の窃盗症の診断基準のいずれにも含まれないものを1つ選べ。

- ① 窃盗行為は利得のためではない。
- ② 窃盗行為に及ぶ前に緊張感が高まる。
- ③ 窃盗行為に及ぶとき解放感が得られる。
- ④ 窃盗行為は少なくとも6か月間にわたって起こっている。

問49 ヒューマンエラーに該当しないものを1つ選べ。

- ① Aのスイッチを押すつもりであったが、忘れて押さなかった。
- ② Aのスイッチを押そうとして、うっかりBのスイッチを押した。
- ③ Aのスイッチを押すルールがあったが、周知されていなかったため押さなかった。
- ④ Aのスイッチを押すべき状況で、Bのスイッチを押すべきと思って、Bのスイッチを押した。

問50 認知行動療法について、正しいものを2つ選べ。

- ① 機能分析では、非機能的な認知に気づき、それに代わる機能的な認知を見つける。
- ② セルフ・モニタリングでは、個人が自らの行動、思考、感情などの側面を観察し、報告を行う。
- ③ トークン・エコノミー法では、レスポナント条件づけの原理を用い、望ましい行動を示した場合に強化報酬を与える。
- ④ モデリングでは、クライアント自身が直接経験しなくても、他者(モデル)の行動を観察することで新しい行動の習得につながる。
- ⑤ 行動実験では、言葉による行動調節機能を用い、クライアントが自分自身に適切な教示を与えることによって治療効果を引き出す。

問51 改訂長谷川式簡易知能評価スケール〈HDS-R〉について、正しいものを2つ選べ。

- ① 20点以下は認知症を疑う。
- ② 認知症の重症度評価を主な目的とする。
- ③ 図形模写などの動作性検査を含むテストである。
- ④ 野菜の名前を問う問題は知識量を問うものである。
- ⑤ 言葉の遅延再生問題で自発的な解答がなければヒントを与える。

問52 教育現場における開発的カウンセリングで用いられる技法として、適切なものを2つ選べ。

- ① ピアサポート
- ② ソシオメトリー
- ③ チームティーチング
- ④ アサーショントレーニング
- ⑤ ソーシャルスキルトレーニング〈SST〉

問53 裁判員裁判について、正しいものを2つ選べ。

- ① 原則として、裁判官3人と国民から選ばれた裁判員6人の計9人で行われる。
- ② 被告人が犯罪事実を認めている事件に限り審理し、量刑のみを判決で決める。
- ③ 裁判員は判決前には評議の状況を外部に漏らしてはいけないが、判決以降は禁止されていない。
- ④ 職業裁判官と裁判員が評議をつくしても全員の意見が一致しない場合、多数決の方式を採用して評決する。
- ⑤ 地方裁判所の裁判員裁判の決定に不服があつて高等裁判所で審理をされる場合も裁判員裁判をしなければならない。

問54 緩和ケアについて、正しいものを2つ選べ。

- ① 終末期医療への人的資源の重点配備が進められている。
- ② 精神症状、社会経済的問題、心理的問題及びスピリチュアルな問題の4つを対象にしている。
- ③ 我が国の緩和ケアは、がん対策基本法とがん対策推進基本計画とによって推進されている。
- ④ がん診療連携拠点病院における緩和ケアチームは、入院患者のみならず外来患者も対象とする。
- ⑤ 診療報酬が加算される緩和ケアチームは、精神症状の緩和を担当する常勤医師、専任常勤看護師及び専任薬剤師から構成される。

問55 向精神薬とその副作用の組合せで、正しいものを2つ選べ。

- ① 抗不安薬 — 身体依存
- ② 炭酸リチウム — 甲状腺機能亢進症
- ③ 非定型抗精神病薬 — 体重減少
- ④ メチルフェニデート — 食欲亢進
- ⑤ 選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI) — 賦活症候群

問56 保護観察制度について、正しいものを2つ選べ。

- ① 保護観察の特別遵守事項は変更されることがある。
- ② 刑事施設からの仮釈放の許可は保護観察所長の決定による。
- ③ 保護観察処分に付された少年は少年院送致になることはない。
- ④ 保護観察中に転居する場合、同一都道府県内であれば保護観察所長に届け出る必要はない。
- ⑤ 少年院仮退院者の保護観察を継続する必要がなくなった場合、地方更生保護委員会が退院を検討する。

問57 医療法に規定されている内容について、正しいものを2つ選べ。

- ① 50床以上の病床を有する医療機関を病院という。
- ② 都道府県は医療提供体制の確保を図るための計画を定める。
- ③ 病床の種類は、一般病床、療養病床及び精神病床の3種類である。
- ④ 医療事故とは、医療に起因する又は起因すると疑われる、予期しなかった死亡又は死産をいう。
- ⑤ 医療事故が発生した場合、直ちに調査を行い、事故に関与した医療従事者は調査結果を医療事故・調査支援センターに報告しなければならない。

問58 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)に基づく処遇について、正しいものを2つ選べ。

- ① 措置入院では手紙の発信が制限される。
- ② 任意入院の際は精神保健指定医の診察を要しない。
- ③ 患者を隔離する際は精神保健指定医の診察を要する。
- ④ 治療上の理由があれば、複数の患者を同じ病室に隔離することができる。
- ⑤ 身体的拘束を行った場合は、身体的拘束を行った旨、身体的拘束の理由、開始と解除の日時などを精神保健指定医が診療録に記載する。

問59 3歳の男児。3日前に階段から落ち元気がないため診てほしいと母親に連れられて来院した。担当医師の診察結果では、頭部に裂傷と血腫、胸部に紫斑を認めた。胸部エックス線写真で肋骨に受傷時期の異なる複数の骨折を認めた。公認心理師は担当医師から対応を相談された。ソーシャルワーカーからは、男児の家族は1か月前にこの病院のあるA市に転居して来たと言えられた。診療録によると、最近1か月の間に、小児科で脱水、皮膚科で熱湯による熱傷、外科では外傷による爪剥離と転倒による肋骨骨折の治療歴がある。

このとき公認心理師が提案する対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 児童相談所へ通報する。
- ② 母親に夫との関係について聴く。
- ③ 母親に子育て支援団体を紹介する。
- ④ 引き続き小児科外来での診療を勧める。
- ⑤ 母親に今回と過去の受傷機転の詳細について問い質す。

問60 33歳の女性A。Aは、3年前にうつ病と診断されて自殺未遂歴がある。1か月前からうつ状態となり、入水しようとしているところを両親が発見し、嫌がるAを精神科外来に連れてきた。両親は入院治療を希望しており、Aも同意したため任意入院となった。入院当日に病棟で公認心理師が面接を開始したところ、「すぐに退院したい」とAから言われた。

このときのAへの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 主治医との面接が必要であることを伝える。
- ② 退院には家族の許可が必要であることを伝える。
- ③ 意に反する入院は有益ではないため面接を中断する。
- ④ Aが希望すれば直ちに退院が可能であることを伝える。
- ⑤ 外来に通院することを条件に、退院が可能であると伝える。

問61 10歳の女兒 A、小学4年生。小学校への行きしぶりがあり、母親に伴われて教育相談室に来室した。母親によると、Aは学習にも意欲的で、友達ともよく遊んでいる。母親をよく手伝い、食前に食器を並べることは必ず行うので感心している。幼児期は泣くことも要求も少ない、手のかからない子どもだった。Aに聞くと、音読が苦手であり、予習はするが授業中うまく音読ができず、緊張して瞬きが多くなり、最近では家でも頻繁に瞬きをしてしまうという。また「友達には合わせているが、本当は話題が合わない」と話す。

Aの見立てと対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① チック症状がみられるため、専門医への受診を勧める。
- ② うつ状態が考えられるため、ゆっくり休ませるよう指導する。
- ③ 発達障害の重複が考えられるため、多面的なアセスメントを行う。
- ④ 発達障害が考えられるため、ソーシャルスキルトレーニング〈SST〉を行う。
- ⑤ 限局性学習症／限局性学習障害〈SLD〉が考えられるため、適切な学習方法を見つける。

問62 35歳の女性、会社員。ストレスがたまり気分が沈むため、産業医から企業内の心理相談室に紹介された。元来責任感の強いタイプで、融通が利かないと言われることもあった。2年前に離婚した。発達障害と診断された小学校1年生の娘が一人おり、最近娘が問題を起こして先生に何度も呼び出されるという。仕事はこなせているが、離婚したことや、子どもの問題を考えると気分が沈む。余暇の楽しみはなく、休日はぐったりして寝ていることが多い。食欲はあまりなく食事を楽しめない。原家族は遠方に住んでおり、育児や経済面への援助はない。

現時点で最も適切な対応を1つ選べ。

- ① 病気休暇を取得することを勧める。
- ② 非構造化面接や簡単な心理検査を行う。
- ③ 速やかに認知行動療法による介入を行う。
- ④ 原家族や娘の小学校に連絡して情報を得る。
- ⑤ 生命が危険な状態にあるため危機介入を行う。

問63 13歳の男子 A、中学生。中学校のスクールカウンセラーから紹介されて B 大学の心理相談室を訪れた。スクールカウンセラーからの依頼状では、クラスでの対人関係の困難と学習面での問題について対処するために心理検査を実施してほしいという内容であった。ところが、A は検査のために来たつもりはなく、「勉強が難しすぎる」、「クラスメイトが仲間に入れてくれない」、「秘密にしてくれるなら話したいことがある」と語った。

援助を開始するにあたって、インフォームド・コンセントの観点から最も適切な方針を1つ選べ。

- ① 保護者からの合意を得た上で適切な心理検査を実施する。
- ② いじめが疑われるため、A には伝えず保護者や教員と連絡をとる。
- ③ 「ここでのお話は絶対に他の人には話さない」と伝えて話を聴いていく。
- ④ スクールカウンセラーから依頼された検査が問題解決に役立つだろうと伝えた上で、まずは A が話したいことを聴いていく。
- ⑤ スクールカウンセラーから依頼された検査をするか、自分が話したいことを相談するか、どちらが良いかを A に選んでもらう。

問64 55歳の男性A、自営業。Aは糖尿病の治療を受けていたが、その状態は増悪していた。生活習慣の改善を見直すことを目的に、主治医から公認心理師に紹介された。Aは小売店を経営しており、取引先の仲間と集まってお酒を飲むのが長年の日課となっていた。糖尿病が増悪してから、主治医には暴飲暴食をやめるように言われていたが、「付き合いは仕事の一部、これだけが生きる楽しみ」と冗談交じりに話した。Aは「やめようと思えばいつでもやめられる」と言っている。しかし、翌週に面接した際、生活習慣の改善は見られなかった。

まず行うべき対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 家族や仲間の協力を得る。
- ② 飲酒に関する心理教育を行う。
- ③ 断酒を目的としたグループを紹介する。
- ④ Aが自分の問題を認識するための面接を行う。
- ⑤ Aと一緒に生活を改善するための計画を立てる。

問65 50歳の男性。5年前に筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉と診断された。

誤嚥性肺炎の既往がある。1年前に嚥下困難となり胃瘻(いろう)造設術を受け、現在は配偶者の介護により在宅で療養している。四肢の筋萎縮と球麻痺があり、寝たきりで発声は不可能な状態である。在宅医療チームの一員として心理的支援を依頼された。

この患者の支援にあたって、念頭におくべき症状として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 褥瘡
- ② 認知症
- ③ 感覚障害
- ④ 呼吸筋障害
- ⑤ 眼球運動障害

問66 55歳の男性。肺癌の終末期で緩和ケアを受けている。家族によれば、最近苛立ちやすく、性格が変わったという。夜間はあまり眠らず、昼間に眠っていることが多い。

この患者の状態を評価する項目として、最も優先すべきものを1つ選べ。

- ① 幻覚
- ② 不安
- ③ 意欲低下
- ④ 見当識障害
- ⑤ 抑うつ気分

問67 28歳の男性A、無職。Aは中学時代にいじめに遭い遅刻や欠席が増え、高校2年生のときに不登校となった。それ以来、自宅にひきこもり、アルバイトを試みた時期もあったが、最近はほとんど外出しない。普段はおとなしいが、家族がA自身の今後のことを話題にすると急に不機嫌になり、自分の部屋にこもってしまう。対応に苦慮した母親が精神保健福祉センターに来所した。

Aと家族に対するセンターの初期の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 訪問支援を行う。
- ② Aが同意した後に母親の相談に応じる。
- ③ Aの精神医学的評価に基づいて支援を検討する。
- ④ Aに対する家族の対応に誤りがないかどうかを話し合う。
- ⑤ 即効性のある対処法を母親に教えて相談を継続する動機を高める。

問68 12歳の男子 A、小学6年生。Aは授業中ぼんやりしていることが多く、学習に対して意欲的な様子を見せない。指示をしない限り板書をノートに写すことはせず、学習全般に対して受動的である。常に学習内容の理解は不十分で、テストの点数も低い。一方、教師に対して反抗的な態度を示すことはなく、授業中に落ち着かなかったり立ち歩いたりという不適切な行動も見られない。クラスメイトとの人間関係にも問題があるとは思えず、休み時間などは楽しそうに過ごしている。知能指数は標準的で、言葉の遅れもなく、コミュニケーションにも支障はない。また、読み書きや計算の能力にも問題はない。

Aの状態として最も適切なものを1つ選べ。

- ① 学業不振
- ② 学習障害
- ③ 発達障害
- ④ 学級不適応
- ⑤ モラトリアム

問69 40歳の男性 A、小学校教師。Aは「授業がうまくできないし、クラスの生徒たちとコミュニケーションが取れない。保護者からもクレームを受けている。そのため、最近は食欲もなくよく眠れていない。疲れが取れず、やる気が出ない」とスクールカウンセラーに相談した。

スクールカウンセラーの対応として、まず行うべきものを1つ選べ。

- ① 医療機関への受診を勧める。
- ② 管理職と相談し、Aの業務の調整をする。
- ③ Aの個人的な問題に対して定期的に面談する。
- ④ Aから授業の状況や身体症状について詳しく聴く。
- ⑤ Aの代わりに、保護者からのクレームに対応する。

問70 42歳の女性A。Aは中学2年生の息子Bの不登校について相談するために、スクールカウンセラーを訪ねた。中学1年生のときの欠席は年1日程度で部活動もしていたが、中学2年生の5月の連休過ぎから休みがちとなり、1か月以上欠席が続いている。Bは休みがちになってから家での会話も少なく、部屋にこもりがちで表情は乏しいが、食事や睡眠はとれている様子である。学校に行けない理由をAがBに聞くと、うるさがり言い争いになる。担任教師がBに電話を掛けてきても出ようとせず、Aは「どう対応していいか全く分かりません」と話した。

スクールカウンセラーの対応として、まず行うべきものを1つ選べ。

- ① 教育支援センターの利用を強く勧める。
- ② 「お宅に伺ってB君と話してみましよう」と提案する。
- ③ Aの苦労をねぎらった上で、Bの現在の様子を詳しく聴く。
- ④ Aのこれまでの子育てに問題があるのではないかと指摘し、Aに改善策を考えさせる。
- ⑤ 「思春期にはよくあることですから、そのうちに学校に行くようになりますよ」と励ます。

問71 15歳の男子A、中学3年生。Aは非行傾向があり、中学校内で窃盗事件を起こし、学校の指導でスクールカウンセラーと面接した。両親は離婚しており、Aと二人暮らしの実父とは関係が悪く居場所がないことなど、自分から家庭の事情を素直に話した。Aとスクールカウンセラーとのラポールはスムーズに形成できたと考えられた。スクールカウンセラーは父親との関係がAの非行の背景にあると考え、継続面接の必要性を感じ週1回の面接を打診したところ、Aは快諾した。しかし、翌週Aは相談室に来なかった。担任教師の話では、Aは「あんな面接には二度と行かない」と話しているとのことだった。

Aへの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 独自の判断で家庭訪問をする。
- ② 児童虐待を疑い、実母に連絡する。
- ③ Aには伝えず父親を学校に呼び出す。
- ④ Aの対人不信に留意し、面接の枠組みをしっかりと保つよう工夫する。
- ⑤ Aをよく知るクラスメイトに事情を話し、Aを面接に連れて来てもらう。

問72 35歳の男性A、営業職。1か月ほど前に、直属の上司Bからそろそろ課長に昇進させると言われ、Aは喜んだ。昇進の準備として部署の中期目標を作成するように指示されたが、いざ書こうとすると何も書けず、不安になり他の仕事も手につかなくなった。Aの様子を見かねたBの勧めで、社内の相談室に来室した。「中期目標はどう書けばいいか分からない。こんな状態で課長になる自信がない」と訴える。Aの許可を得てBに話を聞くと、Aの営業成績は優秀で、部下の面倒見もよく、Bとしても会社としても、課長に昇進することを期待しているとのことだった。

相談室の公認心理師の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Aに中期目標をどのように書くべきか助言する。
- ② 現在Aは抑うつ状態であるため、まず精神科への受診を勧める。
- ③ 昇進はチャンスと捉えられるため、目前の中期目標の作成に全力を尽くすよう励ます。
- ④ 目前の課題に固着するのではなく、キャリア全体から現在の課題を眺めることを支援する。
- ⑤ 現在のAには中期目標の作成は過重な負荷であるため、担当を外してもらうよう助言する。

問73 26歳の男性。職場の同僚たちの会話が自分へ当てつけられていると訴えて家族とともに来院した。2か月前から自分の考えが筒抜けになっていると思うようになった。「いつも見張られているので外出できない」と、周囲を警戒しながら話した。身体疾患、過度の飲酒及び違法薬物の摂取はない。

この患者に対する治療として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 抗不安薬
- ② 気分安定薬
- ③ 抗精神病薬
- ④ 対人関係療法
- ⑤ 認知行動療法

問74 75歳の女性A、独身の息子と二人暮らしである。Aは2年くらい前からスーパーで連日同じ食材を重ねて買うようになり、スーパーからの帰り道で道に迷うなどの行動が見られ始めた。午前中から散歩に出たまま夕方まで帰らないこともあった。最近、息子の怒鳴り声が聞こえるようになり、時々Aの顔にあざが見られるようになったため、近所の人が心配して、市の相談センターに相談した。

市の対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 虐待担当部署への通報
- ② 息子への指導及び助言
- ③ Aの居室の施錠の提案
- ④ 徘徊時に備えた事前登録制度の利用
- ⑤ 民生委員への情報提供と支援の依頼

問75 24歳の男性A。Aは大学在学中に自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害(ASD)の診断を受けた。一般就労を希望し、何社もの就職試験を受けたが採用されなかった。そこで、発達障害者支援センターに来所し、障害者として就労できる会社を紹介され勤務したが、業務上の失敗が多いため再度来所した。

この時点でのAへの支援として、不適切なものを1つ選べ。

- ① ジョブコーチをつける。
- ② 障害者職業センターを紹介する。
- ③ 介護給付の1つである行動援護を行う。
- ④ 勤務している会社にAの特性を説明する。
- ⑤ 訓練等給付の1つである就労移行支援を行う。

問76 19歳の女性A。Aは高校卒業後に事務職のパート勤務を始めた。

もともと言語表現は苦手で他者とのコミュニケーションに困難を抱えていた。就職当初から、仕事も遅くミスも多かったことから頻繁に上司に叱責され、常に緊張を強いられるようになった。疲れがたまり不眠が出現し、会社を休みがちになった。家事はこなせており、将来は一人暮らしをしたいと思っているという。WAIS-Ⅲを実施した結果、全検査IQ 77、言語性IQ 73、動作性IQ 86。群指数は言語理解 82、知覚統合 70、作動記憶 62、処理速度 72であった。

この検査結果の解釈として、正しいものを1つ選べ。

- ① 視覚的な短期記憶が苦手である。
- ② 聴覚的な短期記憶が苦手である。
- ③ 全検査IQは「平均の下」である。
- ④ 下位検査項目の値がないため判断できない。

問77 30歳の女性A、事務職。Aはまじめで仕事熱心であったが、半年前から業務が過重になり、社内の相談室の公認心理師Bに相談した。その後、うつ病の診断を受け、3か月前に休業した。休業してからも時折、Bには近況を伝える連絡があった。本日、AからBに「主治医から復職可能との診断書もらった。早く職場に戻りたい。手続を進めてほしい」と連絡があった。

このときの対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① AとBで復職に向けた準備を進める。
- ② Bが主治医宛に情報提供依頼書を作成する。
- ③ Aは職場復帰の段階となったため相談を打ち切る。
- ④ Aが自分で人事課に連絡を取り、復職に向けた手続を進めるように伝える。
- ⑤ Aの同意を得て、Bが産業医にこれまでの経緯を話し、必要な対応を協議する。

